





ここはいい街だな

街並みは美しく
治安もいい
我が国も手本と
したいほどだ

アリシアは任務で他国の都市を訪れていた
そして仕事も一段落ついた
昼下がりのこと……

か
千
ヤ
ミ



これはこれは騎士様
当店にお越し頂き光栄でございます



カリンッ
カリンッ



もちろんです

ただいま奥の個室が
空いておりますので
どうぞお使い下さい

さぞお疲れの事でしょう



そうかしこまらないでくれ
私はただの客だ

一人の席は空いて
いるだろうか？



いいのか？
ではその好意に甘えさせてもらおう



いや...



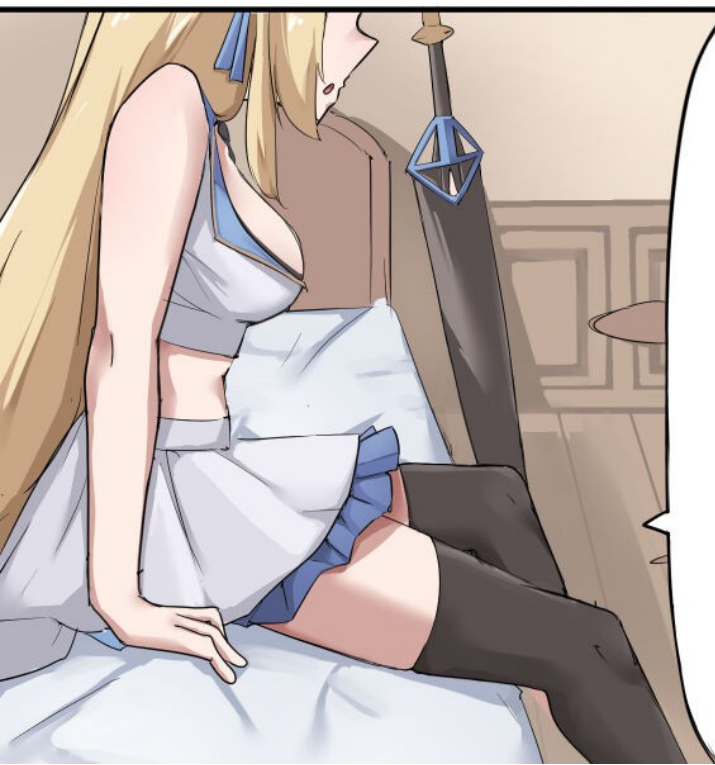
この部屋は騎士様のようなお方に
お使い頂くためのものですから
すぐに紅茶を用意いたしますね



こんな立派な部屋
本当にいいのか？



ありがとう
めいっぱいくつろがせてもらっよ

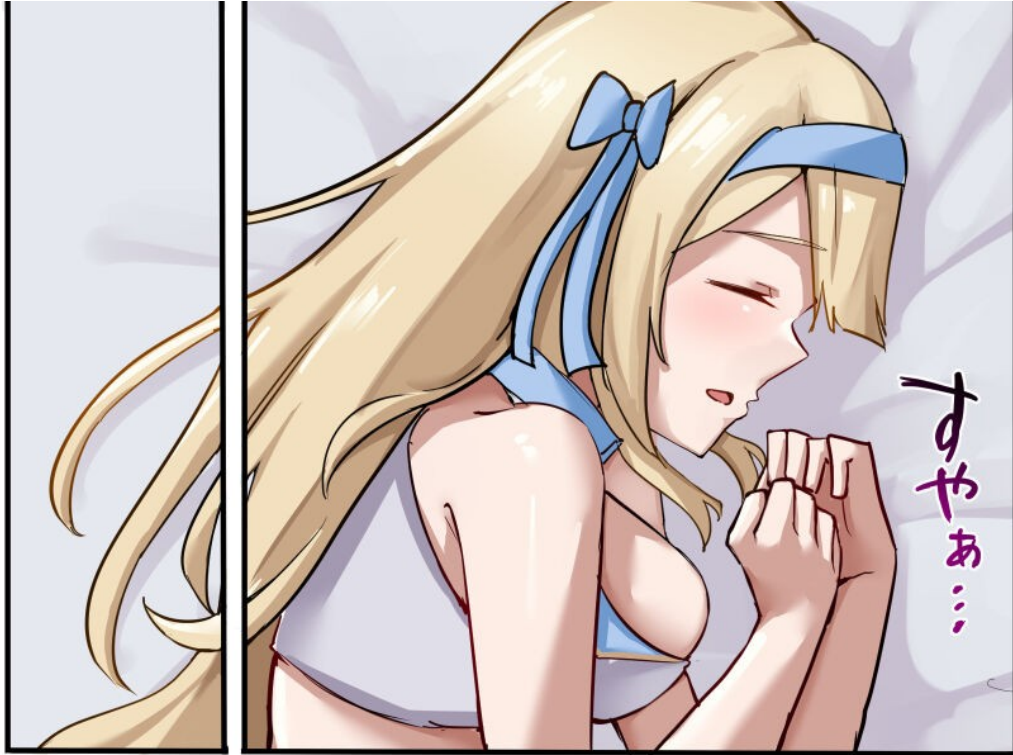


異国に来る仕事も
初めてではないとはいえ
やはり気疲れしてしまうものだな……

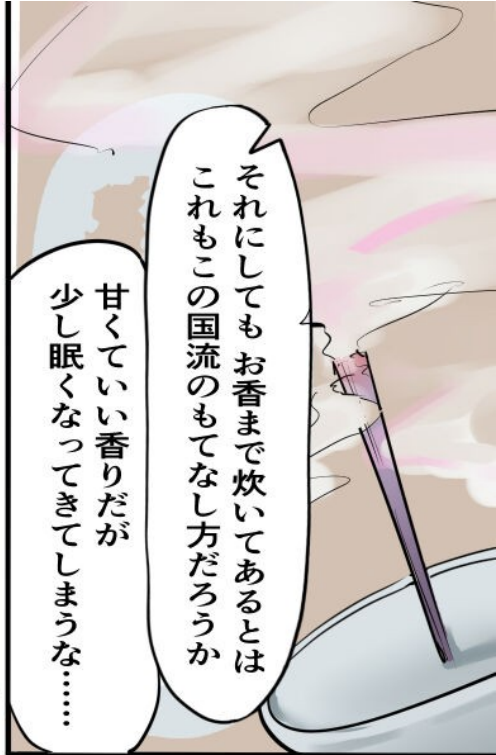


ふう……

ポフッ

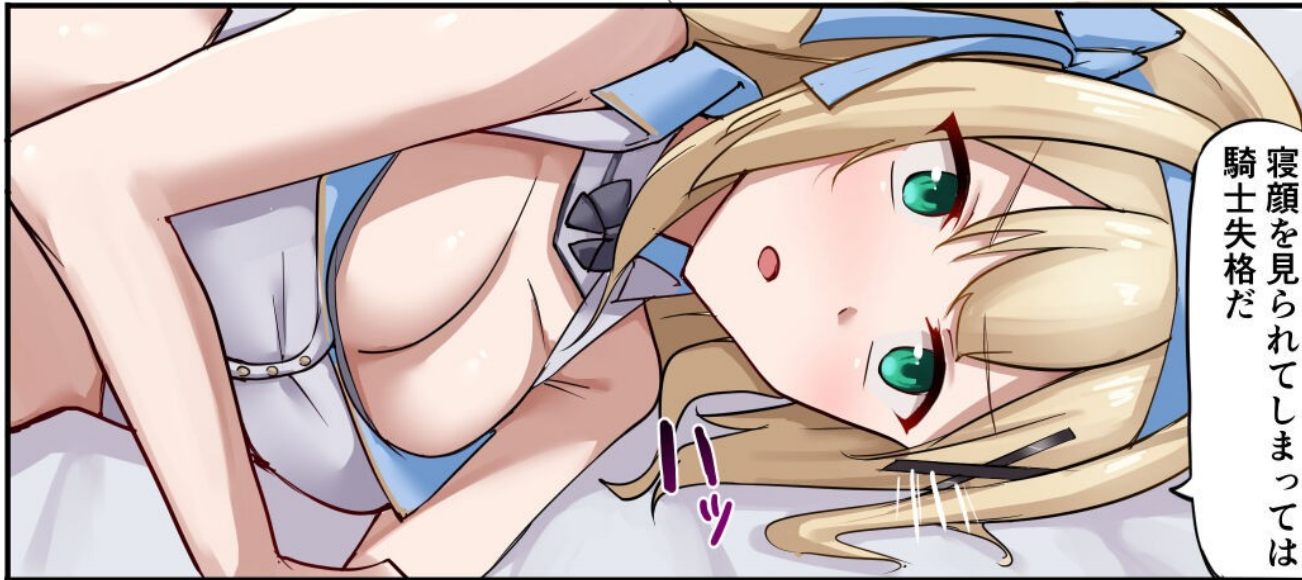


すやあ……



それにしてもお香まで炊いてあるとは
これもこの国流のもてなし方だろうか

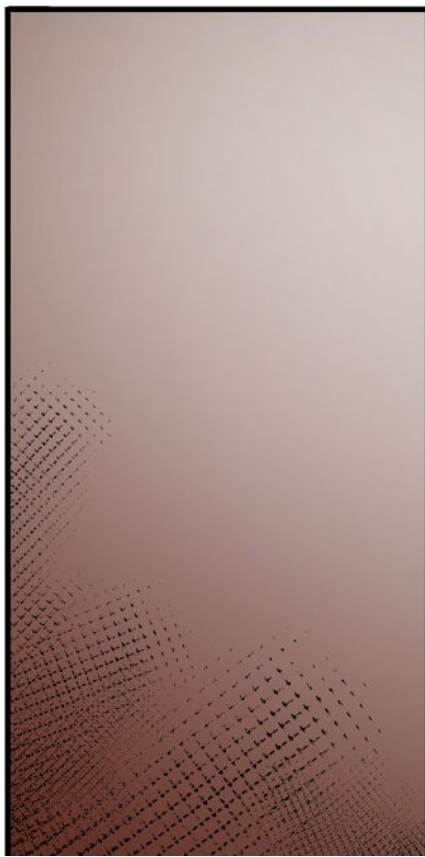
甘くていい香りだが
少し眠くなってきたってしまうな……



いけないいけない
もうすぐ店長が
お茶を持ってくるだろうに

寝顔を見られてしまったのは
騎士失格だ

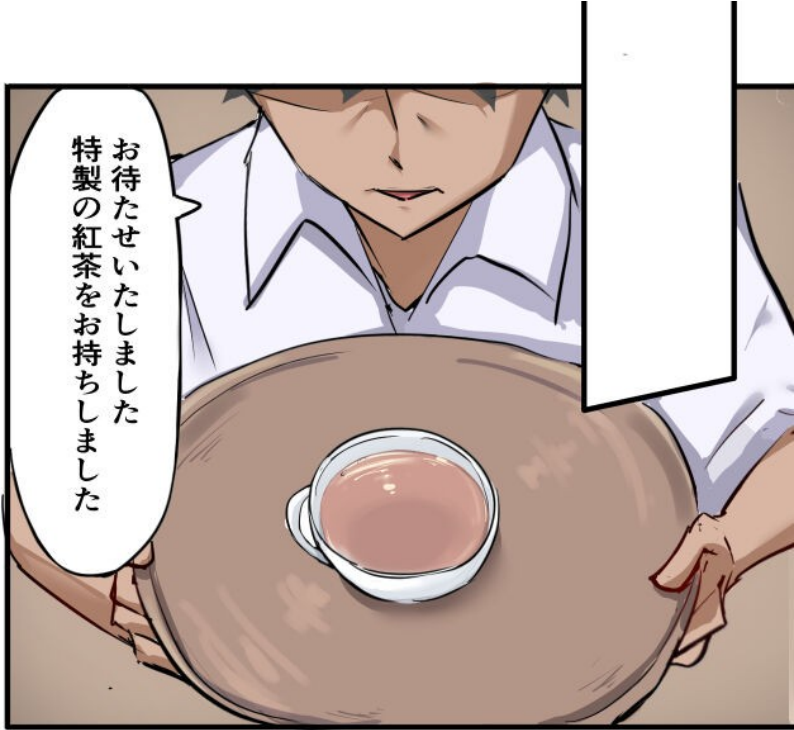
ハッ



それにしても眠い……
思った以上に
疲れていたらしいな……



随分長いこと
寝てしまった気がする...

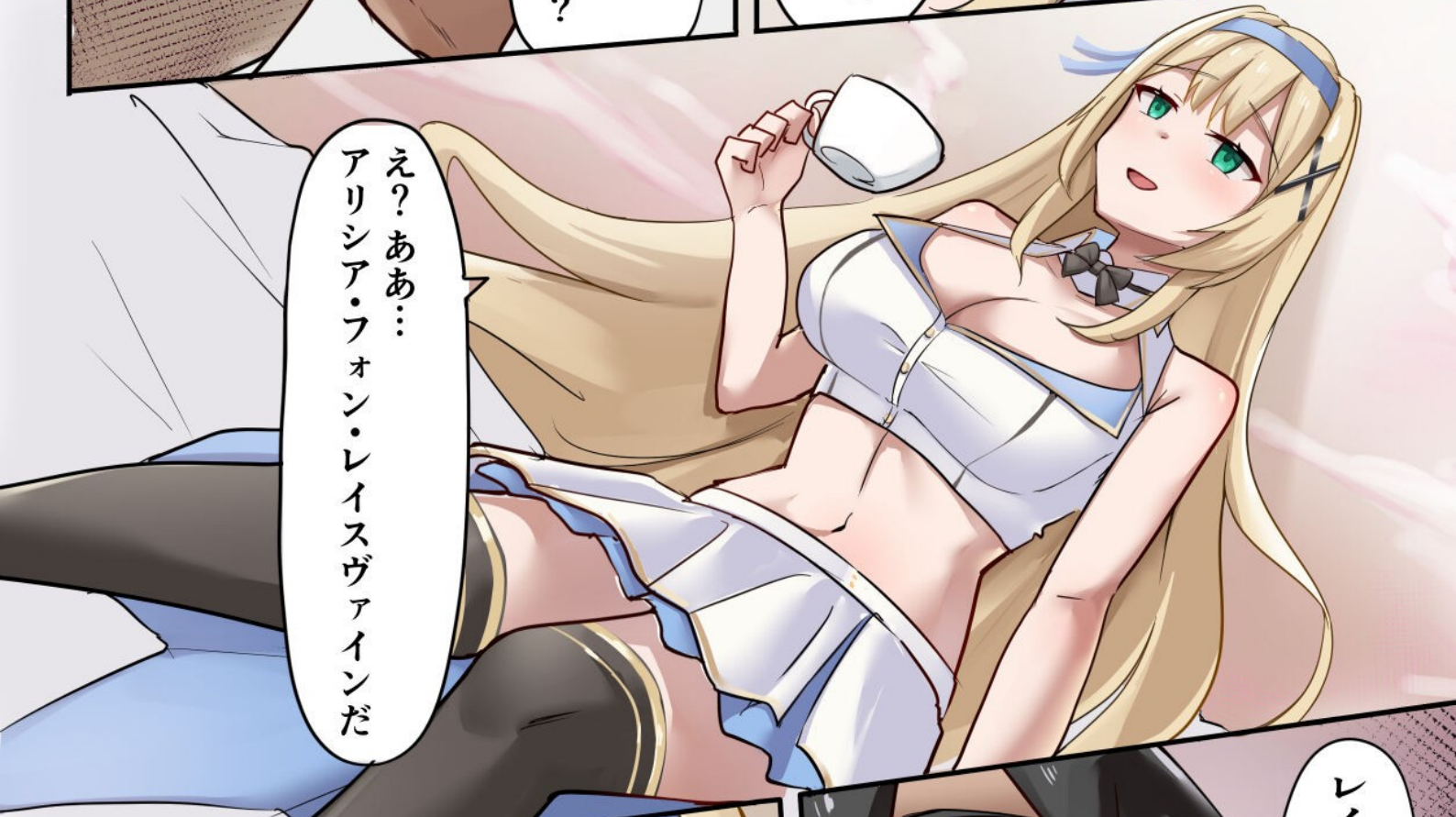




それはそれとはところで
騎士様のお名前は
なんと申うのでしょうか？



ああもちろんだ
こんなにも素晴らしいお茶にお香
自国に持ち帰りたいぐらいだ



え？ああ…
アリシア・フォン・レイスヴァインだ



その通り
あまり姫だからと
特別扱いは
されたくないのだが……



レイスヴァイン？
もしや噂に聞く
レイスヴァイン王国の
姫君ですか!?



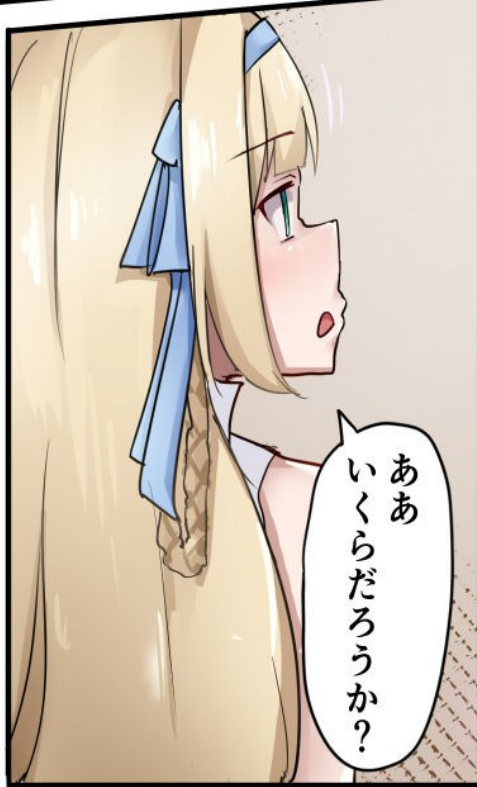
いやいや
そこまでしてくれなくていい
それより騒ぎを大きくされる方が困る



姫君とわかったからには
より一層のおもてなしをしなければなりません……



いやっ



ああ
いくらだろうか？



そうですか
では 姫様
お茶の代金を
お支払い頂いて
よろしいでしょうか？



お金ではなく
姫様の体で
お支払い下さい



何!?
体で払う...
だと!?

この国では
それが常識なのです
いくら姫様といえど
この国の文化は尊重
して頂けませんと...

そ...それなら...
仕方ないか...



そうです
この国ではそれが当たり前なのでから
何もおかしなことではありません

そう...
なんだな...

ではっ...





そうなの…か……？
それなら仕方ない
か……？



この国ではキスぐらい
誰でもします
何もおかしいことではありません



本当にこれが常識なんだろうか？
何かおかしい気がする……

でも店長がこう言うのだし
それが正しいのだろう……

キモチ……
びりっ……



すああんっ！



あ？



さ…姫様
ベッドに横になられて下さい
お代のお支払いはまだですよ

ハァッ

ハァッ



んふっ……！
んっんむふうううっ……！

んっ

ヌキ



えっ……？
もう十分触っただろう？

何をおっしゃいます
体で払うとはセックスをするという事
今までのはその前戯ですよ

ズツ



店長がこう言ってるんだ
何もおかしくはない
それに従わなければならない

そうか…
なら仕方ないな





ところで姫様
初エッチはお済みですか？



いや経験はない
優しくして
もらえないだろうか？

ええもちろんです
私に全て
お任せくださいっ！



おお姫様
素晴らしい締付けです！
初めてなのに
もう感じておられるのですか？



最高ですよ姫様！
体がエロいだけでなく
セックスまでお上手とは！

んっ…

ああああああんっ！
気持ちいいっ……！

何これ知らないっ……！
気持ちいいのぉっ……！

あんっ…

姫様…いやアリシア
君は私に借金をしているんだ

それを返済するまで
帰れない事は
もちろん覚えてるよなっ？

お前は店の高価な食器を割ってしまったんだ
それを返済するまで国には帰れない
わかったな？

あっ…

えっ……？

なんの…ことッ…！?

んおッ



あぁあぁあッ

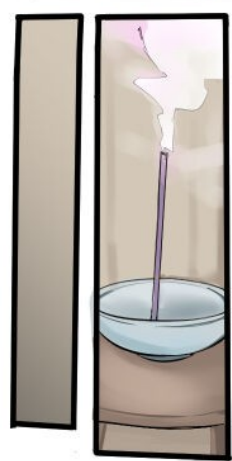
はっ
はっ

ビクッ
ギョッ

わかったなアリシア
お前は借金を返済するまで
ずっとこの店で働くんだぞ

ジュッ
ジュッ

ジュッ



はい店長……

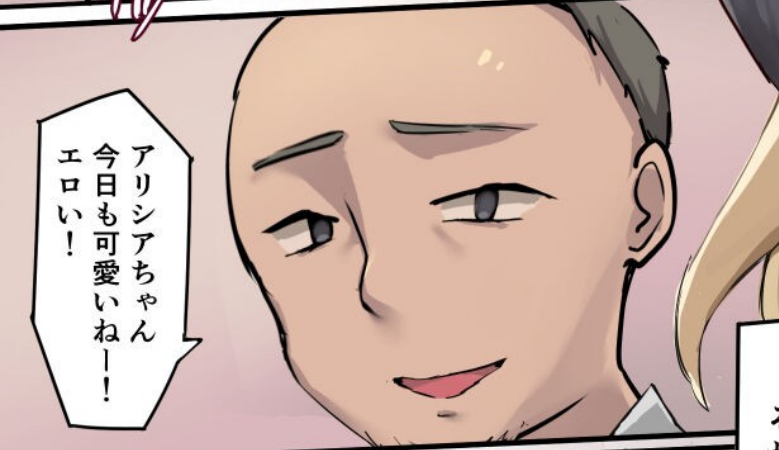


わかりました
店長……!!

よしよしいい子だ
俺にご奉仕してもらおうからな
アリシア



らっしやいませー!



アリシアちゃん
今日も可愛いねー!
エロい!



それから私はこのお店で働いている
私には借金があり
それを返すまでは国に帰れないから



もうっ
可愛いだけで十分ですよ

何か忘れてる気もするけど
店長に迷惑をかけた分
きちんとそれを体で返済しないと

んっ

びんっ
あっ

びんっ

仕事終わりに
は店長に
オナニーを
見せるのが
当たり前

仕事でお疲
れの店長を
癒やすため
にも
気合を入
れてやらな
いと

ああいい光景だよアリシア
お前は本当に優秀な店員だ
店員として店長にオナニーを
見せるのは義務だからね

いッ…イきます…店長ッ…!!

あっ

あああッ

イッッッッッッッッッッ!!

店長もこう言っている
だからこれは何もおかしくないんだ
頑張らないと!

んっ

びんっ



最高のオナニーショーだったよ
 それじゃあアリシア
 今日も借金を
 返済してもらおうか



はあっ……!!
 いかがでしたか?

はあ
 はあ……



は……は……

ゼンツ



れろお……♡

よしよし
 アリシア
 すっかりフェラ
 も上手くなったな



はあっ



じゅぽん♡
 じゅぽん♡

ぞん

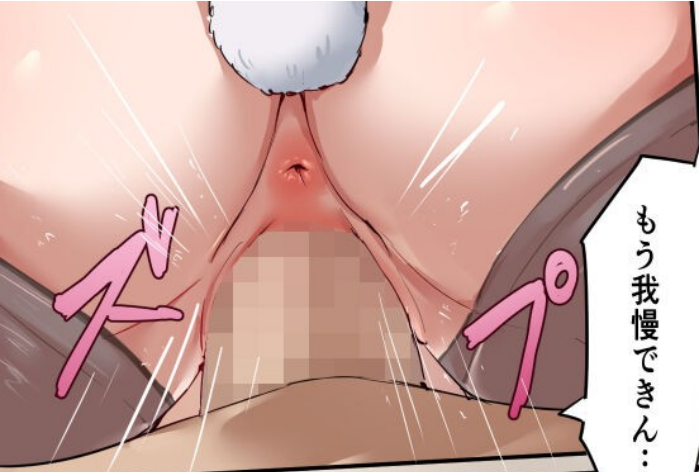


うっ……くっくっくっ!
出るぞ
アリシアっ……!!

ふ
あああ
あっ……!!

うっ
ぐぎゅ
ぐぎゅ
ぐぎゅ
ぐぎゅ





アリシアが
エッチなのが
いけないんだ

もう我慢できん……!



そんな店長
出したばかりなのにっ……!



あん……じ……? ?
あああああんっ!



ダメ……これ……!
すぐっ……イッチャウのっ……!

イけっ!
いき狂えアリシア!
そうすればもっ
暗示も強まる!

わああんっ
イッ……

ズ……

ん……

ズ……

いっ
ん……

いっ
ん……



お前は俺に買われた
性奴隷だわかるな？

イッ
ちゃいませううう！！

ダメ
ええええ
ッ！！

はいご主人様
アリシアを購入して頂き
ありがとうございます

こらアリシア
命令もなく寝るんじゃない
ここはお前の調教部屋なんだ
自分で綺麗に片付けろよ

は…はいっ……
ご主人様……！！

はあ…

ああ…

ド
ン

ユ
ル
ル
ッ

ク
ク
ッ

今日も私は
ご主人様に調教を
していただく日々

ご主人様

今日も調教
よろしくお願
いたします♪

よしいいぞ
アリシア

そのままいやらしく
腰を振るんだ
男を誘うようにな

私はご主人様に
買って頂けた性奴隷だから

ご主人様に満足して
頂くことだけが
私の生きる意味

時々なんだか違和感の
ようなものを感じるけど

私に性奴隷以外の
過去なんて
ないはずなのに

んひひひひひッ

お…おひりいいいんっ！
ぎもぢいいのおおおっ……！

そんなにアナルが
気持ちいいのか？
この変態め

ひひひ

んひひ



ご主人様のっ
調教のお陰ですうっ……!!

はっらんっ……

せちっ

なんだもしかして
お尻を叩かれて
感じているのか?

ビクッ



あっッ
あああんっ!
ご主人様あっ!!

ハッッ

ハッッ



感じます
チャラッ

ええええっ!!
ガッですうう

よしよし順調に
ケツで感じられる
M 奴隷になっているなっ

ビクッ



ズッズッ

ハッ

んあッ

はははっここまで感度が
高くなったのか
いいぞ!もっとイキ狂え!

ふあああッ

ハッッ

アッ



いいぞそれでいいんだ!
性奴隷に考える頭なんて
いらぬからな!

頭おかしくなるっ……!!
頭焼き切れちゃいますぅぅぅぅぅぅ!!

はぁぁぁぁんっ!!
キモチおすぎてええ



アリシア
お前は俺に
性奴隷として
調教を受けて
嬉しいのか?

はいっ……!!
アリシアはご主人様に
M 奴隷として育てて頂いて
とっても嬉しいです♪



あ…ありがとうございます
ございます
ご主人様……!!



はぁぁぁぁんっ!
最高…
ですぅぅっ……

ここまでアナルで
イけるように
なるとは

お前にはやはり
性奴隷としての
才能があるな

はぁ…

よしよし
本当にお前は優秀な奴隷だ
褒めてやろう

ご主人様
ありがとうございます！
アリシアとっても
嬉しいです……！！

あっああっ……

ど……どうしまししょうご主人様
私ご主人様が
愛おしくてたまらないんです……！！

いいぞたまにはお前から
セックスすることを許してやる
俺を気持ちよくさせてみる
アリシア

どこか心の内にあった違和感は
完全になくなっていて
私はご主人様に
お仕えできる喜びに
打ち震えていました

ご主人様にご奉仕できるのが
何よりも嬉しい……！！

ご主人様っ……!!
失礼いたしますっ……!!

ピク

ピク

ご……ご主人様のおちんぽおっ!!
すっごく感じるの

あぁっ

しびれ

んっ

いいぞアリシア!
それでこそ
性奴隷の姿だ……!!

おん

おん

おん

おん

ふっ……くっ……!!
いいぞアリシア……!!
そのまま思い切り腰を振れ!

ズッ
ズッ



お好きなようにお使い下さいっ……！
ご主人様あつ♡



あああんっ！

おっばいいいいっ！
ぎゅってするの
好きですうううっ！

おっばいの
調教も完了だな



お前はもう全身が性器で
性処理の道具だ
その自覚はあるな？

はいっ♡
アリシアのこと
どうか末永くっ……



俺が丹精込めて育てた
性奴隷だからな

ありがとうございます
ご主人様……！



安心しろお前のことは一生
使い続けてやる



こうして私はご主人様のお言葉通りに
来る日も来る日もご主人様の
性処理の道具として使っていただいています

ご主人様っ♡

いかがでしょうか
アリシアの
ご主人様専用
おっぱいは♪

フツッ

フツ

最高だ

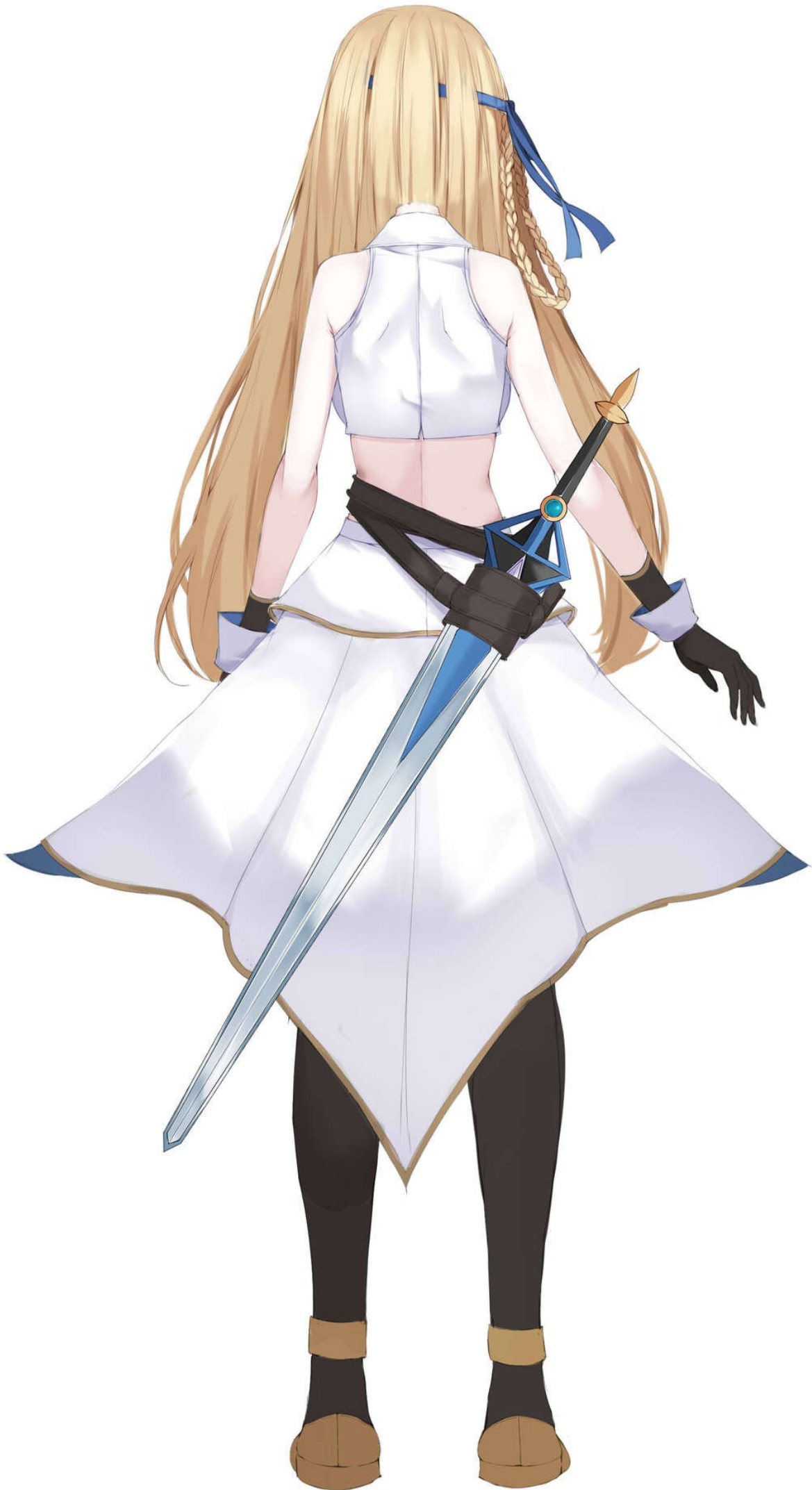
すっかりパイズリも
上手くなったな
さすがは自慢の
性処理奴隷だ

ありがとうございます♪
たくさん濃厚な精液
お出し下さいね♪

これからもずっと
ご主人様の
性奴隷として
生き続けたいです♪

ご主人様と毎日
気持ちいいことが
できる私はなんて
幸せなのでしょう







Cafe

か
ん
や...

